

事 後 評 価 書

事業名	都市公園事業 5・5・2号 亀山サンシャインパーク		事業区分	公園整備	室名	都市政策室
事業概要	工期 (下段当初)	平成3年度～平成16年度	全体事業費 (下段当初)	用地費： 739百万円(負担率：国10/30：県17/30：市3/30) 工事費：3,912百万円(負担率：国5/10：県4/10：市1/10) 全体事業費：4,651百万円		
		平成3年度～平成15年度		全体事業費：4,141百万円		
事業目的及び内容		<p>(1) 当該箇所は東名阪自動車道、伊勢自動車道、新名神高速道路、国道1号、国道25号が交わる交通の要衝に位置し、ハイウェイオアシスとして、利用者に快適な休息空間を提供する。</p> <p>(2) 北勢地域等の住民に、パーキングエリアとの一体化による利便性の高い行楽レクリエーション空間を提供する。</p> <p>(3) 大阪圏や名古屋圏の住民等広域利用が見込まれる中で地域のイメージを高め活性化に資する。</p>				
1・事業の効果						
(1) 費用対効果分析結果						
便益 (B) (百万円)			費用 (C)		B / C	
旅行費用便益	滞在費用便益	計	(百万円)			
5, 942	11, 173	17, 115	7, 528		2. 27	
(2) ハイウェイオアシスとしての効果						
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の亀山市、鈴鹿市などから、遠方の愛知県など、ハイウェイオアシスとして広域の利用が見られる。 ・散策、高速道路利用中の休憩、子どもの遊びなどの利用が見られる。 						
(3) 観光振興等地域活性化に関する効果						
<ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会や写真コンクール等、地域資源を活かした環境学習の開催や、移動動物園等の各種行事の開催を通じて観光振興に寄与している。 						
(4) 長寿・福祉社会への対応に関する効果						
<ul style="list-style-type: none"> ・池沿いのデッキをスロープでつなぎ、誰もが水辺に近づけるよう配慮した他、バーベキューランド、便所などにおいてバリアフリーに対応したことにより、利用実態調査においても効果が確認できる。 						
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化						
(1) ため池、丘陵地環境及び景観の保全						
<ul style="list-style-type: none"> ・高塚池とその周りの丘陵地の景観を保全。 ・利用実態調査でも、9割近くの人が「公園の自然環境の豊かさを感じる」と回答。 						
3・事業を巡る社会経済情勢等の変化						
(1) 上位計画との整合						
<ul style="list-style-type: none"> ・亀山都市計画区域マスタープランにおいては鈴鹿山麓と伊勢湾をつなぐ緑地ネットワークの一環として位置づけられており、ため池及び丘陵地に囲まれたレクリエーション空間づくり等、本公園の整備内容と一致している。 						
(2) 高速道路の低料金化						
<ul style="list-style-type: none"> ・ETC割引など、高速道路が低料金で利用できるようになり、本公園は従来に比べより利用しやすくなると考えられる。 						
(3) 周辺観光施設の状況						
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に閑宿(歴史を感じさせる街並、祭りなどの行事開催)、かめやま美術館(文化施設)、羽黒山(景勝地)などがあり、観光振興を図っている。これらの観光案内をハイウェイオアシスとして広域利用が見込める本公園で行い、地域活性化に寄与している。 						
4・利用者意見						
(1) 利用者の属性						
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の回答者442人の居住地は、亀山市が3割弱、鈴鹿市・津市・四日市市からそれぞれ1割前後、愛知県などの県外からの利用者も3割程度を占める。 						
(2) 利用満足度						
<ul style="list-style-type: none"> ・「亀山サンシャインパークにまた来たいか」との問いに、利用実態調査では90%近くが「はい」と回答。 ・施設別では、「遊歩道」「芝生広場」「オアシス館」の満足度が比較的高い。 						
(3) 公園についての意見、要望(多いもの)						
<ul style="list-style-type: none"> ・案内サインを増やしてほしい、もっと公園についてPRをしてみてもいい。 ・駐車場が少ない(土日に混雑)。 など 						
5・今後の課題等						
(1) 事後評価のまとめ						
<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果分析、観光振興、長寿・福祉社会対応、利用者数推移などを踏まえ、事業の効果は発現されてきている。 						
(2) 今後の事後評価の必要性						
<ul style="list-style-type: none"> ・まとまった施設の改修や更新の際には、利用状況に見合った事業投資となっているかどうか検証する必要がある。 						
(3) 改善措置の必要性						
<ul style="list-style-type: none"> ・案内サイン、公園のPRや、施設改善等が求められている。 						